

---

# 恋ですか

梓

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋ですか

### 【Nコード】

N5071B

### 【作者名】

梓

### 【あらすじ】

彼女の心。好きで、たまんない心。でも、これが恋って分かんない。そんな本音を語った詩のような小説。

## （前書き）

詩のようになってしまいました。周りにいる友達を見て作りました。私の気持ちも入っているかも。どうぞ、ぜひ読んでください。

溢れるこの思いは、恋ですか。

出会いは、何も感じなかったのに、今更、このような気持ちになっている。

ああ、こんなに切ない気持ちになっている。

涙が、出そうなくらいキミが好きなのに、ただ、それだけなのに…  
なんで

「好き」

と言えないの？

そばにキミがいるだけで、心臓が飛び出そうなのに、これは何？好き  
き と言えるの？

このモヤモヤした複雑な思いを恋と言えるのですか？ヒトは、この  
事を恋と言うのですか？

限らない質問を、誰かに答えてほしいよ視線の先には、キミがいる  
の。

なんて、ボーっとしていたら。

「みつちゃん。」

あ。この声。私の大好きな声。キミの声。

「ん？何？」

返事したら

「どうしたの？なんか、ボーっとしちゃってさ。」

そう言っつて、キミは笑う。やっぱり、ズルい。その笑顔。ニカッつて、笑う。可愛い笑顔。

「別に、何でもない。」

あ。冷たい態度かな。ちょっと、失敗。

「ふーん。あ、日直だよ。黒板。」

まだ笑顔のキミが言う。黒板を指差して。

「あ、ありがと。」

なんだ、そんなことで呼んだのかあ。

ちょっとガツカリしながらも、すっかり忘れていた日直の仕事に気づかせてくれたことに感謝した。

ああ、こういう気持ちが恋なのか。恋なんでしょう。きっと、こういうことなんだ。

自分で納得しても、ダメか。

恋ですか。恋なんですか。

私は、自分の心に何度も問いかける。

きっと、明日も明後日も問いかける。

自問自答しながら、毎日を過ごしていく。

そうやって、私は恋をする。

（後書き）

どうでしょうか？アドバイスがあったら、お願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5071b/>

---

恋ですか

2010年12月5日11時51分発行